

授業概要

本講では、日商簿記 3 級レベルの講義をします。授業では、春期「初級簿記」で学習した基本仕訳をもとに、さらに具体的な会計処理を学びます。最終的には合計残高試算表と精算表の作成ができることが目標です。この授業計画に記載した他に、11 月に日商簿記検定試験がありますので、その進度に沿った学習を組んでいきます。主に過去に出題された実践問題を中心に答案練習を行います。

授業計画

第 1 回	簿記の基礎、記帳のルール
第 2 回	簿記一巡の手続き、記帳方法
第 3 回	掛け取引、手付金などの仕訳処理、商品の返品と値引きの違い
第 4 回	当座取引と手形の処理
第 5 回	商品の送料等の仕訳処理、帳簿の作成
第 6 回	小口現金出納帳、貸付と借入の仕訳処理
第 7 回	商品券と他店商品券の違い、給料などの仕訳処理
第 8 回	固定資産勘定と有価証券の仕訳処理
第 9 回	中間試験
第 10 回	試算表と決算処理について
第 11 回	現金過不足の会計処理、消耗品と消耗品費の会計処理
第 12 回	売上原価の会計処理、貸倒引当金の設定と会計処理
第 13 回	減価償却の計算方法と会計処理、費用・収益の見越し繰り延べ処理
第 14 回	精算表の作成、帳簿の締切り
第 15 回	損益計算書と貸借対照表の作成
第 16 回	定期試験

到達目標

日商簿記検定 3 級試験の合格レベルに到達すること。

履修上の注意

1. 1 年次生でも春期「初級簿記」を履修した学生は受講できます。
2. 授業では「電卓 (12 桁)」を持参してください。スマートホンでの計算使用は認めません。
3. 本学エクステンションセンターの「日商簿記検定 3 級講座」をお勧めします。
4. 遅刻は交通機関の遅延のみ認めます。

予習・復習

テキストの精読 3 回と問題集 3 回繰り返し解答すること。
毎日の学習時間を、「学習カレンダー」に記載してください。これによって自分の勉強時間を「見える化」し勉強の進み具合や学習計画の調整を図ってください。
1 日に 3 時間、1 週間で 15 時間、1 か月で 60 時間以上の勉強時間が目標です。

評価方法

中間試験 40%、定期試験 60% 授業態度不良者は「不可」評価とする。

テキスト

開講日にお知らせします。